

東京湾海況情報 25-6

東京湾水質調査結果（平成25年9月）
（平成25年9月20日発行）

千葉県水産総合研究センター
東京湾漁業研究所
〒293-0042 富津市小久保3091
TEL 0439-65-3071
E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp
千葉県農林水産技術会議

資料 水質調査 9/9：内湾(わかふさ)、内房海域(ふさみ丸)
関東・東海海況速報(9/9)、東京湾口海況図(9/9)
モニタリングポスト(9/9：国土交通省関東地方整備局)、国立環境研究所(9/10)
千葉県環境研究センター(9/11)、神奈川県水産技術センター(9/11)、東京都環境局(9/12)

【水温・塩分の状況】

湾内の表層水温(図1)は25~27℃台で、平年より高く、内湾では1℃以上高めになっています。塩分は内湾が22~31PSU台、内房海域は31~33PSU台で、東京灯標から浦安・船橋にかけての北西部沿岸では調査前的大雨によって低塩分状態になっています。

縦断面の水温・塩分の鉛直分布(図3)では、内湾中央部(st. 3~ 6)付近で水温、塩分とも表・底層の差が大きく、やや強い成層状態となっています。

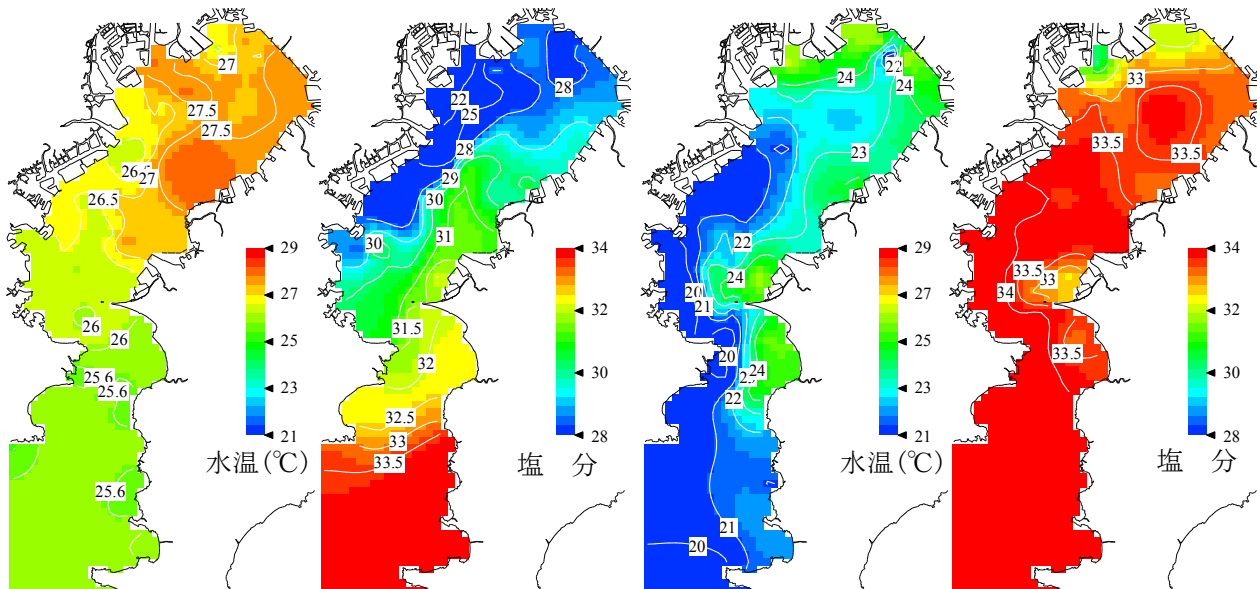


図1 水温・塩分分布（表層）

図2 水温・塩分分布（底層）

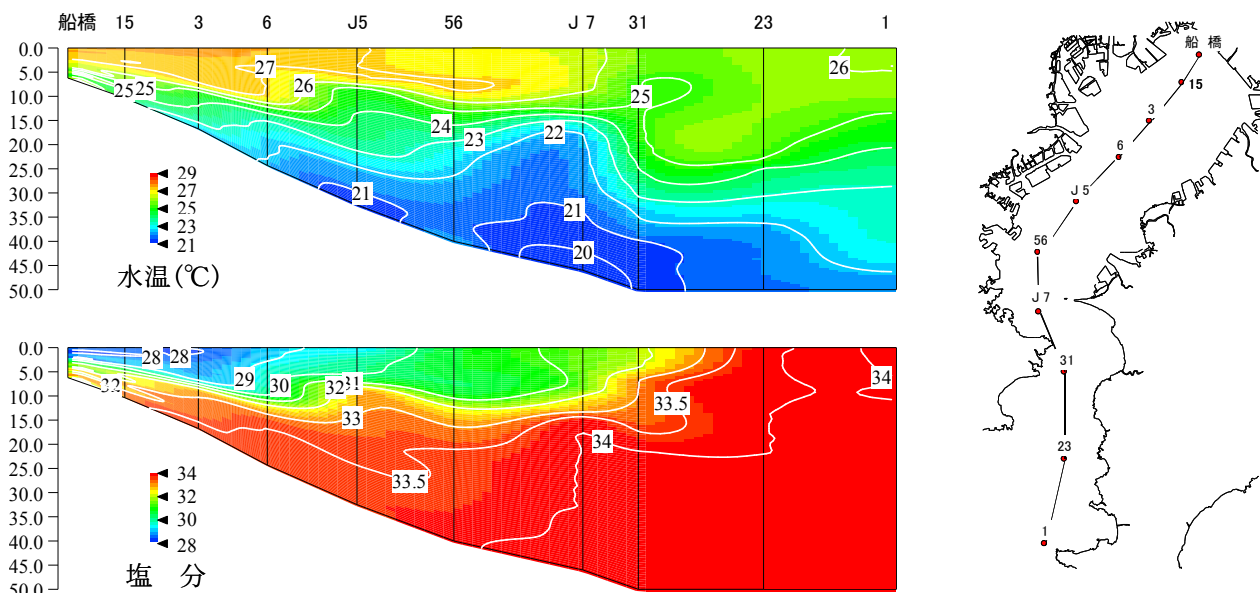


図3 縦断面の水温・塩分の鉛直分布(上：内湾、下：内房海域、右：調査ライン)

【赤潮の状況】

赤潮はアクアライン以北で発生し、pHは最も高いところで8.5、透明度は2m前後で、水色もやや褐色を呈している状態でした。

優占種はケイ藻のスケルトネマ(*Skeletonema* sp.)で、千葉県側ではさらに渦鞭毛藻のプロロセントラム(*Prorocentrum micans*)もやや多くみられていました。保田から富浦にかけての周辺海域ではプランクトンは非常に少なく、ケイ藻類のみみられる程度でした。

これらはいずれも魚貝類に有害な種類ではありません。

※ 千葉県の赤潮の目安は次のとおりです。

色	: オリーブ～褐色
酸素飽和度	: 150%以上
透明度	: 1.5m以下
pH	: 8.5以上
クロロフィルa	: 50 μ g/L以上

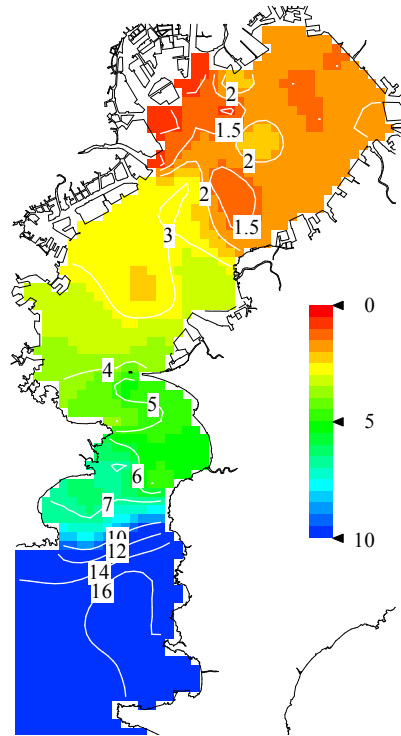


図4 透明度の分布(m)

【貧酸素水塊の状況】

内湾底層部の溶存酸素量(図5, 6)は中央から北部海域で大きく低下し、0.25ml/L以下のほぼ無酸素水塊が北部海域の広い範囲で分布しています。

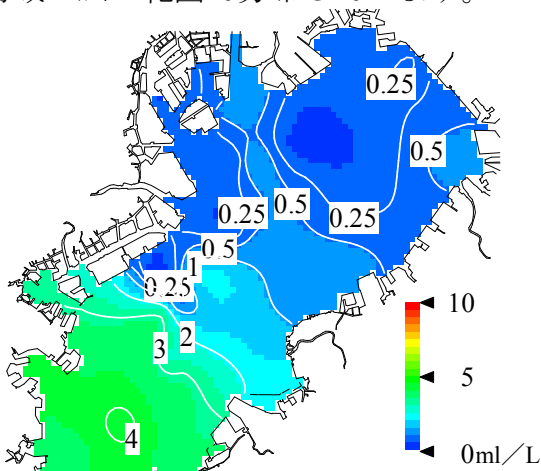


図5 底層部の溶存酸素量の分布(内湾)

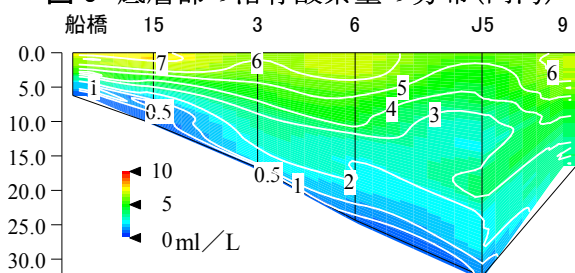


図6 縦断面の溶存酸素量の分布(内湾)

※ 千葉県水産総合センターでは、溶存酸素量2.5ml/L(酸素飽和度50%)以下を貧酸素水塊としています。

【栄養塩の状況】

湾内の表層栄養塩(図7)は溶存無機態窒素(DIN)はほぼ全域で平年より少なくなり、リン酸態リン(PO₄-P)はほぼ平年並みに回復してきています。

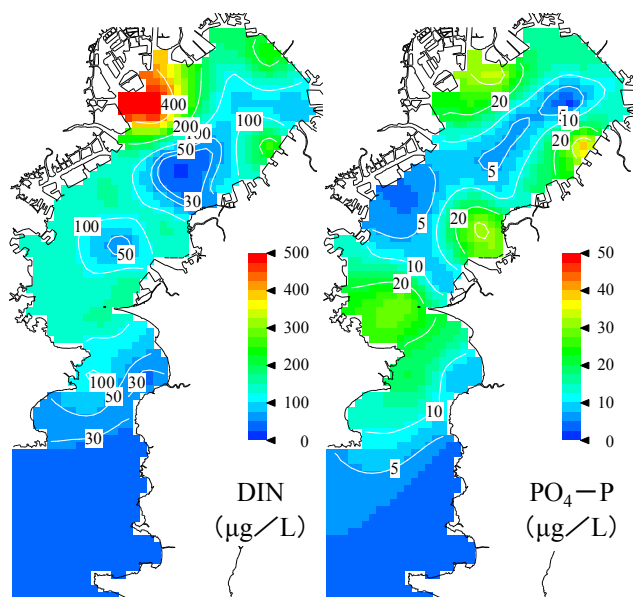


図7 栄養塩濃度の分布(表層)

【黒潮の状況】

黒潮は依然変動しており、その流軸は9日現在、青ヶ島南の31° 20' N付近まで南下した後、八丈島の東側を北上し、御蔵島付近から北東方向に流れています(図8)。

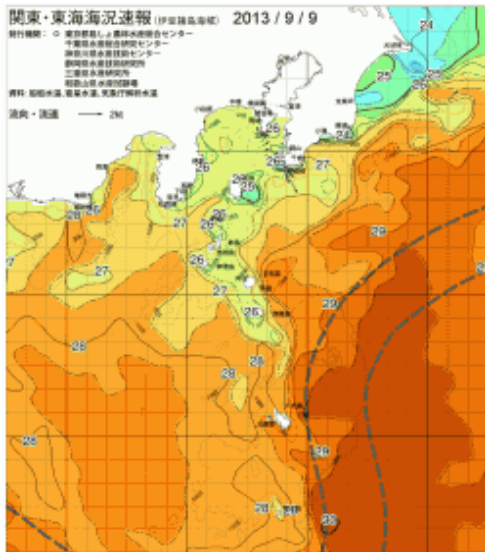
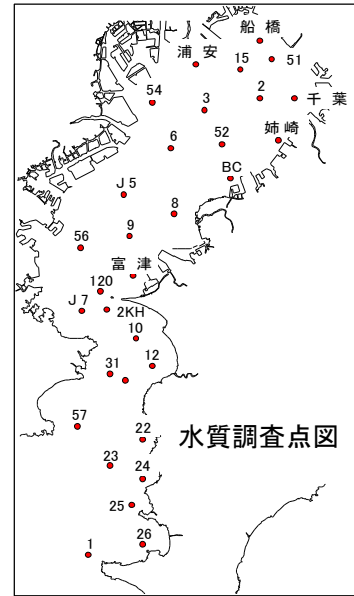


図8 黒潮の動き (平成25年 9月 9日)



水質調査点図

表1 主な調査点の水質調査結果 (表層, 溶存酸素量のみ底層)
(): 最近10年間の平均値 (2003~2012年)

調査点	水温 (°C)	塩分	透明度 (m)	pH	溶存酸素量 (ml/L)	アンモニア態窒素 (μg/L)	溶存無機態窒素 (μg/L)	リン酸態リン (μg/L)	クロロフィルa (μg/L)
内湾	船橋	27.4 (26.4)	27.69 (26.79)	1.7 (1.6)	8.3 (8.3)	0.2 (1.8)	79 (78)	194 (328)	14 (31)
	st.15	27.3 (26.6)	28.14 (25.04)	1.5 (1.4)	8.4 (8.5)	0.1 (0.6)	35 (40)	98 (355)	13 (11)
	st.3	27.4 (26.5)	27.96 (26.28)	2.4 (1.9)	8.3 (8.5)	0.2 (0.4)	33 (27)	149 (128)	6 (6)
	st.6	27.3 (26.1)	28.76 (24.58)	1.7 (1.9)	8.4 (8.5)	0.5 (0.9)	31 (45)	49 (366)	5 (19)
	st.9	27.3 (25.5)	30.46 (27.52)	2.5 (2.1)	8.3 (8.4)	3.1 (3.0)	15 (41)	31 (255)	9 (12)
	st.BC (盤洲Cブイ)	27.8 (26.7)	30.24 (28.25)	1.9 (1.8)	8.3 (8.5)	1.0 (2.0)	36 (23)	82 (130)	17 (12)
	st.8 (盤洲A南)	27.1 (25.5)	31.15 (28.98)	3.6 (2.1)	8.1 (8.4)	1.4 (2.1)	97 (24)	138 (180)	31 (15)
	富津	26.2 (25.1)	32.00 (25.87)	3.8 (2.5)	8.0 (8.3)	3.2 (2.8)	105 (32)	148 (131)	5 (6)
内房海域	st.2KH (第2海ほ下)	26.2 (24.8)	31.63 (30.90)	5.5 (4.7)	8.3 (8.2)		111 (34)	148 (92)	24 (15)
	st.31	25.6 (24.7)	31.81 (31.41)	7.0 (5.7)	8.3 (8.3)		53 (29)	102 (64)	18 (12)
	st.23	25.8 (25.1)	33.91 (32.86)	17.0 (11.2)	8.2 (8.3)		12 (23)	16 (30)	3 (2)
	st.1	25.9 (25.3)	33.98 (33.52)	15.5 (15.0)	8.1 (8.2)		13 (21)	18 (27)	2 (2)
	st.10 (下洲沖)	25.9 (24.8)	32.08 (31.45)	5.0 (5.0)	8.3 (8.2)		53 (25)	80 (56)	17 (10)
	st.12 (湊沖)	25.8 (25.0)	32.39 (31.66)	5.5 (5.3)	8.3 (8.3)		19 (32)	26 (55)	5 (7)
	st.22 (保田沖)	25.7 (25.2)	33.87 (33.57)	15.0 (12.5)	8.2 (8.3)		10 (25)	14 (31)	1 (2)
	st.24 (富山沖)	25.5 (25.3)	33.98 (33.44)	15.0 (12.7)	8.2 (8.3)		9 (23)	16 (29)	ND (1)
	st.26 (館山湾内)	26.0 (25.3)	33.95 (33.45)	18.0 (14.8)	8.1 (8.2)		5 (24)	8 (29)	1 (1)

分析中

注) 透明度、pH、クロロフィルaの欄の橙色は赤潮の基準に、溶存酸素量の欄の青色は貧酸素水の基準に達していることを示しています。